

山二留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和5年度）

Ⅰ 育成室の概要

（１）児童数・教室数（令和6年3月1日時点）

児童数156人（うち配慮を要する児童8人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	4教室
	48人	58人	37人	11人	2人	

（２）受託事業者

社会福祉法人淳風会・社会福祉法人燦愛会共同事業体

（契約期間：令和5年4月～令和8年3月）

他に受託している育成室（藤白台育成室）

Ⅱ 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	3
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

Ⅲ 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が行われており、児童の健全育成に貢献している。
- ②保護者アンケートでは、ほぼ全ての項目で肯定的な回答が90%を超えている。特に「指導員は、児童のことで保護者の相談によく応じている。」の設問で、3回目（年度末）に実施した結果では、「満足」「少し満足」の回答の合計が約96%と高い割合となっており、1回目（8月実施）の結果から約14ポイント増加している。
- ③夏季休業期間中の一日保育時には、週2回の職員調理・クッキング保育を行うことで、児童が楽しみながら保護者負担の軽減にも取り組んでいる。結果として、保護者アンケートの「イベントの回数や内容などについて」「保護者にとってどの程度満足できる場所でしたか」の回答を見ると、「満足」「少し満足」の回答の合計が約96%と高い割合になっている。
- ④令和5年度については、個人的な事情があるとはいえ、年度途中での担任指導員の退職が続いた。児童や保護者との信頼関係の構築には、継続的な雇用が望ましく、事業者としても定着率のより一層の向上などの改善が求められる。